

しよくしんとは 職親

官民連携で

出所者が再び罪を犯さぬよう

「職の親」となり

自立更生を推進する活動です

日本財団 職親プロジェクトの概要

再犯防止に向けた、官民連携による、モデルづくり

国・法務省

日本財団

職親企業

2013年 就労支援を通じて

刑務所出所者 少年院出院者

の社会復帰を支える

はじめは関西の企業
7社からスタート!

「日本財団 職親プロジェクト」を発足。

関西

関東

九州

に拠点があり

法務省矯正局・保護局

と 職親企業

が連携して活動。

「職親企業」とは、このプロジェクトに賛同し

職

の

親

となって

出所者・出院者

の自立更生をサポートする協力雇用主。

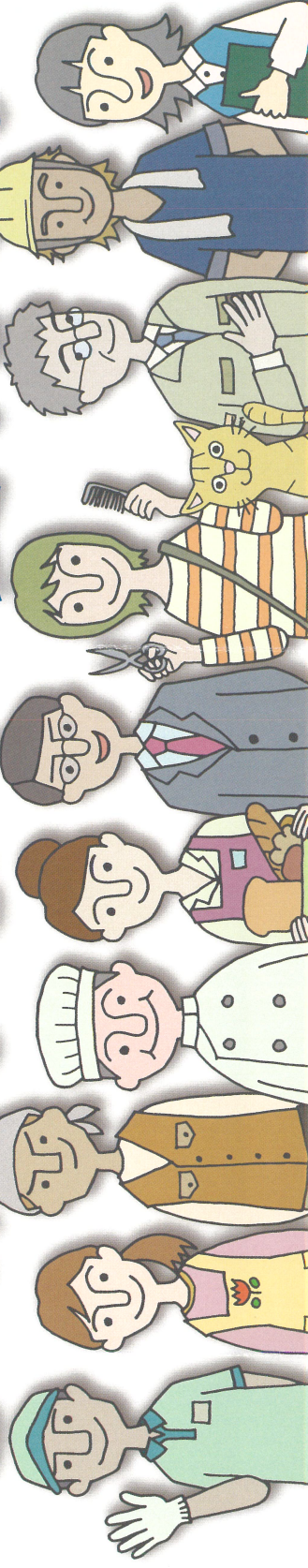
知人の社長から元受刑者で活躍している社員がいると聞いて、最初は驚きました。その後当社も協力雇用主になり職親プロジェクトに参加。最初は不安でしたが、少しずつ職親企業として経験を積んできました。企業様同士で情報交換したり、適性に合わせ転職の斡旋をしたりできるのも心強いですね!

雇い主の声

社会に戻って、「就職」が一番心配でした。面接でお会いした社長さんは良い人でしたが、仕事についていけるか、同僚とうまくやっていけるか大変不安でした。挫折しそうなことも多くありますが、仲間にも恵まれていることが少しずつわかってきて、戻りたくない! 続けたい! そんな毎日です。

就労者の声

ひとりを みんなで 支える。



ご挨拶

このたび「一般社団法人YOMIGAERIプロジェクト」を立ち上げ、併せて「日本財団 職親プロジェクト 関東事務局」の発足の運びとなりました。改めて関係者の皆さまには、心より御礼申し上げます。

「やり直しのできる社会」を作ることと目的として、刑務所出所者や少年院出院者の方を対象とした就労の場と住むところを提供してくださる企業の開拓など、刑務所等出所者の受け入れ活動についてサポートするとともに、スムーズな社会復帰のための教育に重点を置いた支援を行っています。特に関係団体が開発した「心のスポンジづくりプログラム」を受講することで、多くの方が社会復帰を果たし、納税者となって健全な社会生活を送ることができています。

「過去は変えられないが、未来は自分で変えられる。」

変えるためには、まず目標を定め、そこにむけて確実に進んでいくこと。その努力を周りに認めてもらうことが「更生」となります。そんな未来を切り開くために必要なサポートを官民一体となって推進してまいります。

2023年8月吉日

一般社団法人YOMIGAERIプロジェクト

代表理事

藤 峯 豊

Yutaka Fujimaki



心のスポンジづくりプログラム

間違った学びや思い込みを修正する力を身につける教育プログラム
教育関連では全国3例目となる特許を取得している



じゃくしゃん？

